

# WITH YOU

保険情報ペーパー「ウィズ・ユー」

## 1年前より「貯蓄減った」世帯44%

平均保有額は1,124万円  
老後の生活心配が84%

日本は貯蓄大国といわれてきましたが、金融危機後の所得・雇用環境の悪化、さらに物価下落と経済規模の縮小が同時に起こるデフレスパイラルに陥る懸念が指摘されている中、家計のやり繰りは厳しさを増してきており、将来に備えた蓄えを増やしにくくなっています。

金融広報中央委員会が毎年行っている「家計の金融行動に関する世論調査」（平成21年）によると、二人以上世帯の金融資産の平均保有額は1,124万円、貯蓄保有世帯のみでは1,478万円となっており、どちらも2年連続の減少です。少し実感とかけ離れた額になっていますが、これは少数

の高額資産保有世帯によって引き上げられているため、調査対象世帯を保有額の少ない順に並べたとき、ちょうど真ん中に位置する世帯の保有額（中央値）では、それぞれ500万円、800万円となります。

貯蓄残高が1年前に比べて減ったと答えた世帯は全体の44%と、前年より2.1ポイント増えました。その要因としては「定例的な収入が減ったので貯蓄を取り崩したから」がトップです。

また、老後の生活について心配であると回答したのは84.3%にのぼり、前年より0.3ポイント上回っています。平成9年にこの質問を始めて以来、最多となっています。60歳未満の世帯だけで見ると9割を超えています。老後の生活を心配している理由（複数



回答)で最も多かったのが「十分な貯蓄がない」(75.6%)、次いで「年金や保険が十分ではない」(71.7%)となっています。

収入が減ったため貯蓄に回せず、足りない分は貯蓄を取り崩し、ますます老後の生活が不安になるという負のスパイラルに陥らないためにも、計画的に将来の備えをしていくことが重要です。



保険情報サービス株式会社 ～さあ、保険いいとこ取り

〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-16-4 とうしんビル3F  
TEL 03-5682-7070 FAX 03-5682-7071 ☎ 0120-7109-32(ナツク ミツリ)  
<http://www.hoken-joho.co.jp/> info@hoken-joho.co.jp